



バイオサミット 厚生労働大臣賞 科学技術振興機構理事長賞受賞

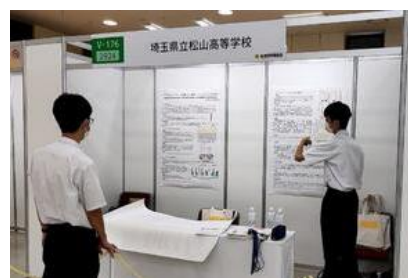
8月22日(月)～24日(水) 山形県鶴岡市で開催された高校生バイオサミットに生物部3年の2名が参加しました。1次審査通過119本の演題の中で「アメリカツノウズムシの眼のない個体(ヘッドレス)の光走性」(佐藤琉晟)が厚生労働大臣賞を、「ナミウズムシとアメリカツノウズムシの雑種の発見とこの雑種のミトコンドリアの両性遺伝」(山崎青空)が科学技術振興機構理事長賞を受賞しました。これらは上位9位以内に相当する賞で1つの学校から2つ受賞するのは異例とのことです。また優れた指導者に贈られる優秀研究指導者表彰を顧問2名が受賞しました。



SSH生徒研究発表会

8月3日(水) 神戸国際展示場で開催されたSSH生徒研究発表会に生物部3年の3名が参加しました。

松山高校からは佐藤琉晟くんが「アメリカツノウズムシの眼のない個体(ヘッドレス)の光走性」のポスター発表を行いました。全国のSSH校の研究発表に触れ、生徒たちも大いに刺激を受けてきたようです。



親子理科教室

7月10日(日) 東松山市内の小学4～6年生の児童とその保護者を対象に、親子理科教室を実施しました。各科目ごとに、理科系部活動の生徒や3年特進クラスの生徒がアシスタントとして対応し、児童や保護者に実験を教えたり、質問に答えたりしました。

◆◆物理◆◆



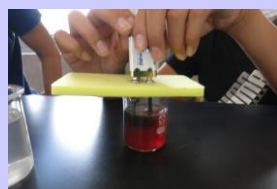
物理分野ではロボットプログラミングキットを使ったプログラミング体験をしました。

◆◆生物◆◆



生物分野では口腔内細胞を顕微鏡で観察し、DNAを抽出しました。

◆◆化学◆◆



化学分野では電気分解と燃料電池、燃焼や爆発について学びました。

◆◆地学◆◆



地学分野では化石から型を取り、石膏でレプリカを作りました。

SSフィールドワーク(地学)

8月5日(金) 地学フィールドワークで下仁田自然史博物館見学と下仁田の露頭の巡検に14名で行ってきました。群馬県西部の下仁田町は小川町とも共通する地質で、中生代の地層が広く分布します。地層の褶曲や逆転、根無し山（クリッペ：移動してきた山）などが観察できます。午後は国立科学博物館にも見劣りしないと言われる群馬県立自然史博物館を見学しました。



跡倉クリッペ見学



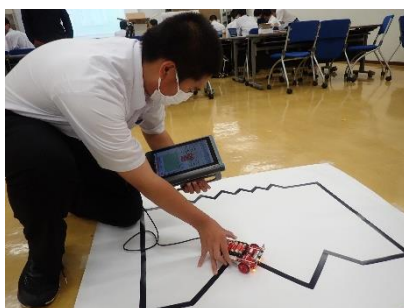
大桑原の褶曲見学



宮室の逆転層見学

SS講義Ⅱ(物理)

8月18日(木) 松山高校理数科卒業生でもある中央大学教授 中村太郎先生を講師にお招きし、2年理数科を対象に「生物・生体を規範とした”柔らかい”ロボットと実用化への挑戦」というタイトルで講義をしていただきました。



現在進めているロボット開発についての話や、中村先生の松高生時代の話などもお話ししていただきました。午後は中央大学の学生と共にライトレースロボットを使ったプログラミング実習を行いました

SS講義Ⅰ(生物)

8月19日(金) 東邦大学理学部生物学科准教授 後藤祐二先生を講師にお招きし、1年理数科を対象に生物講義を実施しました。「1塩基の違いが性別、容姿やカラダの大きさまで変える！ゲノムの不思議！！」というタイトルで、ゲノムの違いがもたらす生物の多様性について学びました。



英語プレゼンテーション講座

8月18日(木) 19日(金) ヴィアヘラー・幸代先生を講師にお招きし、1,2年理数科を対象に英語プレゼン講習を行いました。ヴィアヘラー先生は「プレゼンの目的は聞き手が要点を覚えて持ち帰ること」とし、まずは英語プレゼンの3つの基本である、歩きながら話すこと、ジェスチャーをすること、アイコンタクトをすることを学び、グループごとに英語でプレゼンを行いました。

